無所属の会・市民の力

湖南市議会議員

赤祖父ゆみ

9月議会報告書

NO.73

2021年 9月

TEL／FAX　0748-77-5437

無断での複写・転用を禁じます。

♪ご意見お待ちしております。

［発行責任者：赤祖父ゆみ］

アドレス：pengin-fight.6.6.3.9@zeus.eonet.ne.jp

ホームページ：http://akasofu-yumi.net/

たくさんの感動をもたらしたオリンピック、パラリンピックも終わりました。コロナウイルス感染状況は少し収まる方向に向かってはいるものの、滋賀県での重症者比率は未だ高く、緊急事態宣言が9月30日まで延長されたところです。

飲食店の皆様の「もう限界」の悲痛な叫び、観光や芸術、文化関係者からも大変厳しい状況をお聞きしています。公の施設の閉鎖により、日頃大切にされてきた様々な活動が出来ない状況となり、人と人との繋がりが途絶えて、アフターコロナでの市民の気力の低下が大変懸念されるところです。できることから見直していくいいチャンスと捉え、これからは、デジタル化も含めた非接触での事業展開、改革が必要となってきました。市の運営も議会も時代の流れと共に変革が求められる過渡期を迎えています。変わっていくための知識と勇気を持ち合わさなければなりません。少子高齢化、人口減少が進む中において、市民に一番近い市議会議員は、市民の声を聞き、地方から国を変える思いです。コロナ禍対策の一つとして、市内経済の活性化を図るための地域応援券を郵送しましたので、どうか活用ください。市内各店の応援を重ねてよろしくお願いします。

10月の決戦の前で、大変忙しい時期ではありますが、18年間、1回も休まず議会報告書を発行してきました。何が議論され決まったのかを報告することは、議員の使命だと思っています。ホームページには活動報告、研修報告も掲載していますので、ご覧いただけたらと思います。

9月定例議会は予算執行が次年度の予算に反映するための大切な決算審査定例会です。コロナ禍での議会開催に、感染防止策を十分おこないながら、感染者を出すことなく閉会の日を迎えられ、今はホッとしています。湖南市の課題を指摘させて頂きながら、今後も注視していかなくてはならないと思います。

このまちの魅力を、民間活力も利用しながら市民と一緒になって引き出していく。

こんな時だからこそ・・

幸せ度up！未来に向けて変わる、元気なまちをめざして

知恵をだしていきたいと思います。

赤祖父　ゆみ

決算常任委員会

令和２年度一般会計決算認定

一般会計歳入総額　279 億 7706 万 6821 円
歳出総額　273 億 2566 万 9160 円
単年度収支　9504 万 4225 円の黒字
市税決算 86 億 2867 万 1 千円　（▲0.9%）
（個人市民税▲1.3%・法人市民税▲23．1%）
法人税は税制改革もあった。
→依存財源が 13.9%増える。
国から多額のコロナ関連の財政措置がなされ大きく膨らんだ予算となる。

○ 事業が取りやめなどで不用額となった予算
→2388 万円
事業が中断した事による市民への影響を懸念。

財政指数４指標　→問題なし。
経常収支比率は 88.8%。引き続き高い状況

指摘事項

○ 定数条例目標値は 500 人であるのに対して、令和３年度は 439 人になっており、保育士（5 名減）。日本語初期指導教室、学校図書館支援センターの職員も不足している。適材適所のマンパワーは重要。
○ テレワークが進んでいない。緊急事態に備える必要がある。
○ 想定浸水深表示設置事業は、ハード面の整備は出来たが、地域での理解までに至っていない。ソフト対策を広げること。
○ 指定管理者管理経費の備品 50 万円が不用額となっているが、備品が必要との要望を聞いている。各課連携が出来ているかを指摘。
○ 男女共同参画推進事業でのアンケート回収率が低い。女性も要職に就いて意見が言える社会実現は重要。
○ ブロック塀の補助件数が 3 件。少ないのではないか。特に通学路での点検が必要。
○ 石部駅について、約 4 億 5000 万円を繰り越している。コロナ禍で企業の経営悪化が懸念されるが、予定通りに進めていくことを確認。
○ 観光推進対策事業約 3500 万円。観光協会会員だけでなく、湖南市としての総合的な観光行政と新しいエリア観光マップづくりを指摘。
○ 子ども家庭総合センターでは、以前の公立保育園・幼稚園の園長先生が任務に当たられている。湖南市の民営化は湖南市の就学前教育の指針に則っての民営化であった。発達支援教育をはじめ、湖南市が現状調査をすべき。

令和２年度　介護保険特別会計決算認定

○ 生活支援コーディネーター業務の委託費不用額が 229 万 2961 円について、地域に出て課題を見つける事が十分出来ているかを指摘
○ 地域包括支援センター運営費 3976 万 8249 円
庁舎内に入って直営２チーム体制での運営。15000 人までの計画で 4 中学校区にセンターがあるのが理想。今後、民間経営も視野に入れながら、高齢化社会を迎える支援体制の構築、人の確保は重要な課題である。

国民健康保険特別会計決算認定

○ 保険料収納率が令和２年度は下がっている。税の公平性の観点からも徴収に工夫を指摘。

後期高齢者医療特別会計決算認定

○ 中学校区で課題がある。各自治会など、100 歳体操やサロンで集まっているところへのオーラルフレイル教室など健康予防出前教室を推進すべき。

消費税インボイス制度の中止を求める請願

建設業の陳述人が 2 人委員会でその悲痛な叫びを話されました。消費税込みで仕事を受けているのが現実で、消費税を上乗せすると言ったことを要求すると仕事をまわしてもらえない大変厳しい現状に驚きました。必死に生活を繋げている方には大変厳しいインボイス制度。国はこのような実態を知っているのだろうか。弱い者が我慢をしなくてはならない社会に大きくメスをいれなくてはならない。税の公平性の観点からも、声をあげることは大切だと思いました。この請願には賛成できませんが、別の角度から国へ意見をのべていきます。

「所得税法第 56 条廃止を求める意見書」を求める請願

この請願は、これまでにも何度か提出されてきました。白色申告は配偶者が年 86 万円、配偶者以外の親族は年 50 万円の控除額しかないしかありませんが、青色申告では、専従者控除があります。書類提出は面倒ですが、今では入力ソフトもあり、努力して頂けたらなとの思いで反対をしました。

議会改革推進特別委員会報告（9 月 14 日）

令和元年 11 月～令和３年９月まで、委員長を務めさせていただきました。成果と課題について委員会でまとめました。

政策提言サイクルを具現化するために・・

○ 7 月に予定していた可児市の川上元議長の研修をコロナウイルス感染拡大に伴い、翌年 5 月にオンラインにて研修
○ 令和３年２月、近隣市の甲賀市の取り組みを副委員長と事前に林田元議長にお話を聞き、委員会で協議した
→議会チャレンジシステムの議論が浮上し、様々な意見の中、今委員会ではまとまらなかった。

各常任委員会主体による議会報告・懇談会

○ 一部の委員会では、閉会中まで調査が進み、より深い議論となった。

事務事業評価の見直し

○ 各会派のご意見を元に、決算常任委員会に移行することが出来た。

２元代表制の議会としての意見が社会福祉の向上により反映されるよう改革が必要と考えます。

甲賀広域行政組合議会報告（9 月 28 日）

令和２年度　歳入総額　35 億 1653 万 6000 円
歳出総額　34 億 6921 万 8000 円
コロナ禍における急体制について一般質問します

地域資源を活用した観光まちづくり支援について

問 歴史文化財、市内観光地は点在しています。地域おこし協力隊やまちづくり協議会、指定管理の施設などがあり、各種団体も含めた観光行政、シティープロモーションは市が主体となって総合的にまちの魅力発信を進めていくべきでは。

答 自治体にはない「営業」という要素を、民間企業の活動から学びながら、庁内関係部署である地域創生推進課や教育委員会とも連携をし、湖南市の観光振興に取り組んで行きたい。

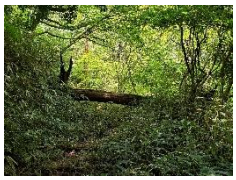
問 専門職員の配置は考えていませんか。

答 市の職員での観光振興に対する専門職員の配置は現在考えていません。担当職員のスキルアップに繋がる研修や視察を検討しています。

問 駅に来られた観光客に分りやすいエリア観光マップの提案をしたいと思います

答 市内全体を周遊していただくエリア観光へシフトしながら、エリアマップについてはつくる方向で検討します。

問 阿星山は湖南市で一番高い山です。ハイキングブームの中、訪れる観光客がありますが、台風 18 号の被害を受けたままになっています。その安全対策とハイキングコースの東屋の修理、整備について



答 安心してハイキングが楽しめるよう整備を検討したいと考えています。

問 東海道の歴史を感じさせる田楽茶屋を市の強みにする取り組みについて

答 民間活力を導入しながら、田楽茶屋を核とした石部宿観光振興を図っていきたい

問 東海道石部歴史民俗資料館も観光の観点から観光 PR が必要と考えます。令和元年 6 月に法改正がなされ、文化・観光振興分野を市長部局で一体的所管が可能になりましたが、その方向性は。

答 業務の円滑な推進、効率化が図れる効果が期待できるならば、組織を検討したい。

カーボンニュートラル 2050 年に CO2 削減計画を受けて

問 SDGs の考えから、3R。ごみの減量に対する取り組みについて

答 環境基本計画において、ごみの排出削減（リデュース）、食品ロス削減を推進しており、ホームページや広報、SNS などを活用して啓発を図っていきます。

問 プラスティックゴミ削減の啓発が弱いと感じます。市が率先して行なう取り組み、ムーブメントについて

答 使い捨てプラスティックの使用量削減と適切な処理が急務と認識しています。
プラスティック類の分別について、重点的に啓発し、買い物袋持参運動、過剰包装の自粛促進など働きかけていきます。

問 ゴミ処理施設で火災事故等が発生しています。焼却炉の修繕は多額の税金を要します。適切なゴミ分別の学習会が必要ではないか。

答 コロナ感染が収束しましたら、出前講座を再開したいと考えます。

問 森林資源である木質バイオマスを活用した取り組みは重要です。ペレットストーブの補助金は考えられませんか

答 個人等への補助という形では、考えていません

問 CO2 削減目標に向けての進め方について

答 太陽光発電設備の導入や木質資源をバイオマス燃料として活用等考えていきます。

食育！ 湖南市学校給食について

問 残飯が多いと聞いています。メニューの決め方、意見を聞き、その意見が反映されていますか。

答 1ヶ月単位で献立を作成し、栄養バランスを考慮しながら、安全・安心に食べていただけるよう、食材はすべて加熱しています。人気のメニューを取り入れながら、残食の分析を積み重ねています。献立について更なる工夫をしていきます。

問 牛乳の残が多いと聞いています。その他の食品での栄養摂取は考えられませんか。

答 他市で他のメニューに変えて試されましたが結果が得られなかった事例があります。家庭での食育、感謝していただく家庭教育も大切なことと考えています。

研修報告と議員活動

JIAM　国際文化研修

7 月 5 日～6 日(月火)

世界情勢からわがまちの
未来をつくる～

アフターコロナ、ウイズコロナ・・世界の情勢はどう変わったか。上向きに回復すると予想されるSDGs が世の中を変える。本気で取り組むところが勝ち組になり、真の改革は地域から生み出される

全国地方議会サミット 2021

7 月 7 日～8 日（水木）

改革から変革へ
デジタル議会が変革する

先進議会の実践から議会事務局やメディアのあり方まで、さまざまな議論で学び合うサミット。北川正恭名誉教授、片山善博教授など盛りだくさんの講義に、これからの議会運営に参考にしたい。

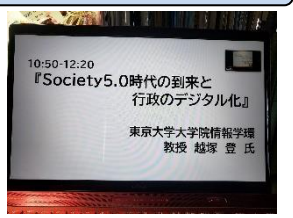
母子世帯の住宅問題研修

7 月 17 日（土）

追手門学院大学地域創造学部　葛西リサ氏

母子家庭の貧困実態を改めて知ることが出来た。厳しい生活の中の35%が住宅費。静かに学習する環境にない子ども達は、アンケート調査では半数。シェアハウスが民間業者から提案され、全国で 40 カ所ある

市町村議会議員特別セミナー



7 月 20 日～21 日(火水)

人口減少と行政のデジタル化は避けては通れない。オープンデータに基づく施策。人材の確保が重要な課題です。災害情報の LINE でのコミュニケーション。出来ない事をデジタルで補う意識を持ち、体系的な手法での改革が求められている。

無所属の会・市民の力　研修報告（7 月 29 日～30 日）

29 日　奈良県生駒市　100 の複合型コミュニティ

4 月 15 日の JIAM 研修にて生駒市の小紫雅史市長のお話に魅了され、是非とも行ってみたいと思っていたことが実現しました。

コロナ禍のピンチをチャンスに変えるまちづくり。そこには小自治体組織での支え合いが人口減少、少子高齢化社会を救う鍵となることを実感しています。

職員が現場に何回も足を運び、人が地域でつながる「場」づくりが重要で、きっかけづくりが地域全体の大きな変革となるのです。全庁あげてのプロジェクトチーム、課長チームでの取り組みが、大きな鍵であると思いました。

30 日　兵庫県姫路市　歩行者と公共交通のみのトランジットモール化

日本で初めて整備された人に優しい駅前広場がどのようにして実現したのか？については、17 回の推進会議を開催し、市民からの意見が反映された事を聞き、市民が積極的に市政に関わった成果だということに感動しました。

赤祖父ゆみ議会報告・懇談会　8 月 8 日(日)

（石部まちづくりセンター）

- まちづくり協議会の格差
- 阿星山の整備
- プラスティックゴミ削減
- 税金の滞納について
- 森林の活用

ご参加いただいた皆さん！
貴重なご意見、ありがとうございました。

7 月 28 日　石部エコ&マルシェ
蜜蝋ラップ・石けん啓蒙活動

8 月 2 日　南小夏休み子ども教室
染め物・カバンづくり

7 月
- 7 日　第 4 回議会広報委員会
- 11 日　自治会河川愛護活動
- 13 日　第 5 回議会広報委員会
- 14 日　議会運営委員会
- 15 日　総務常任委員会(地域総合センターの運営状況)

8 月
- 6 日　決算常任委員会
- 11 日　議会運営委員会
- 19 日　全員協議会
- 25 日～19 日（24 日間）9 月議会定例会

9 月
- 14 日　議会改革推進特別委員会
- 21 日　議会広報委員会
- 29 日　甲賀広域行政組合議会
- 30 日　議会広報委員会

ホームページもご覧ください！

http://akasofu-yumi.net/

トピックス

すっかり、秋の気配を感じる季節となりました。

新型コロナウイルス感染拡大で大きく影響を受けた市内業者の支援策として、湖南市地域応援券が発行されました。1 世帯 2000 円（500 円×4 枚）です。

応援券を利用して、市内経済の活性化にご協力下さい。

市民の皆様の声を大切に、議会で発言してきて 18 年。議会からの提案が少しでも地域福祉の向上に繋がるよう、これからも努力を重ねていければと願っています。